

北栄町町制施行20周年記念町勢要覧

未来へのトビラ

さあ開こう、

未来へ続く、北栄のトビラ。

Hokuei



prologue

行こう、 20年目のその先へ

北栄町が誕生して20年。

誕生当時はどうだったんだろう。

今はどんなまちなんだろう。

そして、これからどうなっていくんだろう。

さあ、まちのトビラをノックして、

一緒に未来をのぞきに行こう。



Contents

Prologue: 行こう、20年目のその先へ……………2

第1章: 振り返る、まちの思い出

Memory ～過去～

北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会 ……4
由良川下りイカダレース大会 ……5
北栄砂丘まつり ……5
北栄スポーツクラブ ……6
認定こども園 ……6
鳥取県中部地震 ……7

第2章: 人と、今と、まちと

Now ～現在～

村岡 めぐみさん ……8
カノウ ユミコさん ……10
飯田 光男さん ……12
木村 智一さん ……14
中原 真太郎さん ……16

第3章: 21年目のまちづくり

Future ～未来～

北栄町の誇り ……18
故郷へ贈るMessage ……20
道の駅ほうじょう ……22
青山剛昌ふるさと館 ……24
北条道路・北条JCT ……26
青山剛昌先生20周年記念メッセージ ……28

Information ……30

Epilogue: 町長挨拶 ……31

過去

第1章

振り返る、まちの思い出

Memory

北栄町誕生前から

暮らす人たちの

まちへの思いをつづる

インタビュー特集

History 01

北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会

【昭和63年】

第1回目の様子



合併後
1回目の
様子



昭和63年に旧大栄町で始まった大会が、合併後に名称を変えて続く。全国から4,000人以上が参加し、3キロと10キロのコースを年齢や性別で分かれて走る。ゴール後の「大栄西瓜」と「砂丘ながいものどろ汁」の食べ放題が人気だ。

きつい農作業の励みに

汗だくでゴールしたランナーに、スイカをひたすら切って渡すボランティアが続いています。「おいしい〜!」の一言と笑顔で頬張る姿が、スイカ畑での農作業の暑さ・苦勞を忘れさせてくれます。

ランナーから感謝の言葉と元気をもらいつつ、地元の中・高生ボランティアとの会話も楽しく、今後も体力が続く限りサポートしていきたいです。

町民ボランティア
濱本 えみよさん



第1回目の様子

History 02

由良川下りイカダレース大会

【平成元年】

瀬戸獅子舞保存会
鍛本 伯竹さん



平成19年の様子

アイデアいかに地域の一体感

開催当時から瀬戸獅子舞保存会として毎年出場していました。竹の骨組みに紙を貼り、獅子頭や風神・雷神、竜、人魚などを立体的に制作して載せました。デザイン考案など夜通し酒を飲みながら会議したり、成功しても失敗しても本番で多くの観客から声援をいただくのは本当に楽しかったし、地域の一体感と熱量を感じました。大会がなくなって寂しいですが、この思い出とともに新たな魅力づくりを支援していきたいですね。

平成元年に旧大栄町で「由良川下りイカダレース大会」として始まり、ユニークな手作りいかだで、アイデアやタイムを競って話題を集めた。合併後は「北栄ゆら由良川くだり」に改称して続いたが、平成28年の28回目 が最後となった。

History 03

北栄砂丘まつり

【平成15年】

「北条砂丘まつり」を平成15年から住民手作りで実施。合併を機に平成18年8月から「北栄砂丘まつり」と改め、第1回目を開催。コロナ禍で中止が2年続いたが復活し、お台場公園に場所を移し、大規模な花火で北栄の夏を締めくくっている。

第1回目の様子



北栄砂丘まつり実行委員長
松本 公明さん

手づくりの夏の思い出

当初は浜辺にステージを設けましたが、潮風で楽器が傷むなど大変でした(苦笑)。花火が約500発と大規模なのは、花火会社と直接取引しているから。ほかに露店を住民団体に任せるなど手づくりの姿勢は、合併前から貫いています。寄付集めに奔走する実行委員会メンバーや、赤字覚悟の鳥取だらずプロレスなどみんなのおかげで、たくさんの人たちと夏の思い出をシェアできています。

令和6年の様子



History 04 北栄スポーツ クラブ

【平成21年】

北栄町
駅伝競争
大会



北栄スポーツクラブ理事長
林 邦臣さん

運動習慣が定着し、みんなで健康づくり

今では運動を生活に取り入れて健康づくりに役立てる町民が増えましたが、定着まで試行錯誤の連続でした。活力ある地域づくりで始めた各種スポーツ大会の年間成績の合計で自治会を表彰する「スポーツグランプリ表彰」制度は工夫、改善しながら進化し続いています。また健康長寿のまちづくりとして取り組んでいる健康運動教室は大人気です。町内体育施設は会場を分割するなど利用者の使いやすいシステムをつくり、フル活用されています。

合併時は住民主体でスポーツ振興を図る総合型地域スポーツクラブが旧北栄町にはあった一方、旧大栄町にはなかった。このため4年をかけて大栄地区に普及させ、「北栄スポーツクラブ」が誕生。「スポーツ・健康・まちづくり」をスローガンに生涯スポーツ社会の創出と定着、健康で明るいまちづくり、総合型地域スポーツクラブの浸透を基本方針としている。



令和7年
現在



北栄こども園
開園式



北栄こども園の初代園長
森田 清子さん

子どもの自主性を 尊重しながら成長を見守る

ザリガニ釣りや竹馬作りなど、北栄町で自然と触れ合いながら学んで遊ぶ子どもたちは、人生を豊かにする財産を蓄えています。退職した身ですが現職の先生たちと、子どもが自ら考えて動き、新たな発見をする過程を見守り続けていきたいですね。

History 05 認定こども園

【平成24年】

平成24年4月に、幼保連携型の認定こども園として、いずれも北栄町立の北栄こども園、大誠こども園、由良こども園の3施設が開園。その後、北栄町立大谷こども園、私立北栄みどりこども園も認定を受けて開園した。

令和7年
現在



History 06 鳥取県中部地震

【平成28年】

平成28年10月21日午後2時7分、鳥取県中部を震源とするマグニチュード6.6の地震が発生し、北栄町や倉吉市、湯梨浜町で最大震度6弱を観測。県中部を中心に被害が広がり、北栄町内では住宅被害が全壊13棟、半壊40棟、一部破損2,236棟だった。

災害当時の
町内の様子



消防団員
募集中



北栄町消防団団長
川口 美記也さん

防災力アップへ、今後は女性・高齢者も参画を

地震発生直後は仕事を切り上げ、倒壊家屋などの確認に自転車で行きましたが、町外で働く団員が多いため人手不足で大変でした。また、昔に比べて火災が減ったことはいいことですが、その分、災害現場を身をもって知る団員も減ってきています。消防団＝男性というのが「一般的」でしたが、日中の火災や災害救助には女性や高齢者にも加わってもらえる体制が必要と感じ、現在は女性消防団員も加入・活躍しています。今後は実践的な防災訓練や女性・高齢者でも扱える防災器具の導入など、地域の実情や時代に合わせた取り組みを進めていきます。



現在

| 第2章 | 人と、今と、まちと

Now

北栄の「今」を生きる町民インタビュー

interview

スイカ農家
村岡 めぐみさん

北栄の農業の魅力を伝え
受け入れてくれたこの地に
恩返ししたい



町民 Voice



スイカなどの農産物に恵まれていて、これがとてもおいしいんです！
こうした特産物をこれからも引き継いでいきたいです！



北栄町は海、山、川、砂丘と自然が豊か、とても過ごしやすい環境
が自慢です！



「北栄町といえば〇〇」と誰もが頭に思い浮かべるような、全国で
も有名な町になってほしいです！



私が挨拶したら、いつもみなさんが笑顔で返してくれます。嬉しい
気持ちになり、とっても温かいまちだなと思います！



「ほうじょう大トーク大会」など、子どもや大人が年齢に関係なく話せる場があるところが自
慢です。将来は、誰かの助けになれるような人になりたいです！

移住者だった自分が、北栄の魅力を伝えることに

香川県で旅行の添乗員をしていましたが、仕事先の大山でスキーのインストラクターで農家でもある夫と出会ったことがきっかけ
でスイカ栽培を始めました。農業と全く関わりのない暮らしをしてきましたが、自分でも驚くほど楽しいですね(笑)。大変なこともありま
すが、手をかけて育てたスイカを「おいしい」と言って食べてもらえると、とっても幸せです。

大栄西瓜は、100年以上の先人たちの努力の歴史があり、現在約200軒で西瓜組合協議会を組織してブランド化、全国にた
くさんのファンがいます。

将来も安心しておいしい大栄西瓜を作り続けるため、令和4年、西瓜組合協議会内に就農者を増やしサポートするための部が設
立されました。微力ながらその取り組み(体験会、就農フェア、SNSなど)にも関わらせてもらい、北栄町や農業の魅力を伝えています。

北栄は農業が基幹産業なので、厳しい自然相手に住民同士で助け合う気風が昔から色濃く残っており、「笑顔で、みんなでもう
けよう!」という雰囲気を感じます。人や土や水など、恵まれた環境の中でスイカ栽培ができることに感謝を忘れず、これからも頑張っ
ていきたいですね。



「添乗員から農家にプラスして移住までして平気なの?」と聞かれますが、元々執着せずに流れに乗るタイプなんです(笑)。全く緑もゆかりもないところから、農家、そ
して移住者となった目線で、このまちの豊かな自然や人柄などの魅力を、スイカを通して発信し続けたいと思います。



豊かな水資源

西日本有数のブナ林に覆われた大山。その
豊かな森から生まれた良質な天然水のおか
げもあり、高品質でみずみずしいスイカが育ち
ます。

~colmn~

最新技術が支える 【大栄西瓜選果場】

JA鳥取中央が令和5年に導
入したシステムは、高性能カメラ
やセンサーを備え、見た目や糖度
の検査も自動化。箱詰めもロボッ
トがこなしています。3年連続で
出荷額22億円突破という「もう
かる農業」を支えています。





interview

野菜料理研究家・ふるさと大使
カノウ ユミコさん

02

北栄の野菜・果物を通して このまちの魅力を伝えたい

由良宿と東京の2拠点生活 「野菜の健康レシピ」を提案

30年以上暮らした東京から由良宿に戻り、クッキングサロン兼自宅で料理教室やレシピ作成、商品開発などをしながら、東京のアトリエと行き来する2拠点生活をしています。東京には全国の野菜が集まりますが、やはり北栄町の野菜が最高。甘くて味が濃いのは、地形や気候、砂丘と火山灰の土壌のおかげなのでしょうね。野菜本来の味を楽しみながら、健康になる「野菜の健康レシピ」をお伝えしています。



野菜の中に眠っている香りや甘み、コクやうまみを引き出すことを「野菜から調味料を引き出す」と私は表現しているんですが、これができれば調理自体はとっても簡単。北栄には新鮮で高品質の野菜があふれているので、おいしい食べ方や子どもたちの食育もお手伝いできればいいなと思っています。

海外や東京で積み重ねた野菜料理の研鑽を力に 「ふるさと北栄」へ恩返しを

小さいころから料理が大好きで、高校の時から独学で自然食を研究し、大学を卒業後「好きなことを仕事にしよう」と、妹と天然酵母の総菜パンの店を東京にオープン。そこからいろんな巡り合わせやご縁があって海外で2年間仕事をしました。その海外生活で気付いたのが、日本の、そして北栄の野菜・果物の豊かさとおいしさ。

帰国後、野菜を生かしたオリジナル料理を提供する精進懐石料理の店を開き、オーナーシェフを12年務めた後、野菜料理研究家として本の出版や雑誌の連載などをするかたわら、北栄へリターン。北栄が持つ自然や地元野菜の素晴らしさを伝えるため、野菜料理教室を始めました。やっぱり地元の空気はおいしいし、ホッとできますね(笑)。

これまで経験したことや、離れたからこそ知ることができた北栄の魅力を北栄や東京、そして世界へ発信し、故郷を盛り上げて恩返ししていきたいなと思っています。



料理本など30冊を執筆

これまで出版した野菜の料理やレシピなどの本はなんと30冊以上。スープ、酒のつまみ、サラダ、常備菜など多彩なグルメを提案しています。

~column~

バリエーション広がる 【野菜料理教室】

毎月、自家農園の無農薬野菜や地元の旬の野菜を使った料理教室を由良宿のクッキングサロンで開催中。

参加者は野菜からおいしさを引き出すコツを学び、野菜料理のバリエーションを広げています。



町民 Voice



作物がおいしいのが北栄町の自慢です。気候が暑かったり寒かったりする中でも、懸命に農作物を育ててくれる生産者さんに感謝!



北栄町は、いろいろなおいしいものが栽培できるのが自慢です。10年後、20年後もこのまま、自然豊かなまちであり続けてほしいです!



いつもおいしい給食をありがとうございます!毎日楽しみにしています!



北栄町で一番気に入っている場所は海です。キレイな海岸、ゆったり回る風車、海を眺めながら魚釣りをするのが好きです!



北栄町は特産物がいっぱいあり、ゆったり過ごせるまち。将来、保育士になるため、一生懸命保育の勉強をしていきたいです!

interview
防災士
 飯田 光男さん

「人命を守る」を使命に 自主防災の工夫を模索

豊かで美しい自然は危険と 隣り合わせでもあるんです

北栄町役場を退職後、アフターコロナの令和4年に大島自治会長に就いて自主防災訓練を指揮し、退任後も防災アドバイザーを務めています。

この地域は豊かで美しい自然があふれる一方、標高が低く大雨で浸水しやすい地域なので、近年頻発するゲリラ豪雨に備えた訓練が必須となっています。

また、発生の予測ができない地震対策を軸に、毎年、自主防災訓練を行い、頭でなく体で覚えるように取り組みを進めています。



町民 Voice



北栄町は、元気な挨拶が返ってくるステキなまち。将来、この大好きなまちに貢献できるように頑張ります！



北栄町は、みんなが顔なじみで防犯意識も高くて安心して暮らせるまちです。これからも北栄町を大切にしていきたいです！



将来、たくさんの人を救う医者になるため、これまで以上に勉強を頑張ります！



10年後、人に頼られて、優しく思いやりがあって、カッコいい……そんな大人になりたいです！



北栄町は空気もいいし、こんなに自然豊かなところは他にはありません！

いつ起きるか分からない天災には、地域の「絆」で備えておきたいですね

災害で最優先するのは「自助」、つまり「自分の命を守る」ことです。家庭で定期的に災害が起きた時の避難場所を確認したり、備蓄品のチェックをしたり、まずは「自助」の準備をしておきましょう。ただし、一人で災害に立ち向かうには限界があるので、隣近所と協力する「互助」、地域で助け合う「共助」につなげるため、日頃からの声かけや近所同士の付き合いにも積極的に加わってほしいですね。

また、互助、共助に欠かせないのは避難に支援が必要な人の情報です。自治会では、県が勧める「支え愛マップ」を作成して地域の独居高齢者や要介護者への避難支援を明記し、毎年更新しています。

防災・減災で重要なことは事前の備え・準備ですが、いざ発生してしまった場合、重要となるのは地域の連携です。北栄町のいいところは、古くから住民同士の付き合いが深く、この連携力が高いところにあります。過去に災害が何度かありましたが、大きな被害が出なかったのは人と地域の絆があったからだと思っています。

新しく移住されてきた方や家族が増えた方なども今後増加すると思いますが、これからも町民全員が安全・安心に暮らせていけるよう、地域の絆を大切に育み、防災力を高める活動を続けていきたいですね。



「キレイなバラにはトゲがある」じゃないですが、美しい自然は常に危険と隣り合わせなんです。災害が「起きたらどうしよう」じゃなく、「起こるもの」として事前の準備と協力体制を築き、「何が起きても大丈夫！」という安心感を持って暮らしていけるよう、日頃の備えや災害時の訓練をこれからも実施していきたいですね。



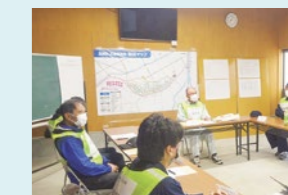
令和3年7月豪雨

令和3年7月4日からの記録的な大雨により、町内各地で河川の増水や土砂災害を伴う道路の損壊、建物の浸水などの被害が発生しました。

～column～

県内975地区が作成 【支え愛マップ】

災害時に手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先などの情報が書き込まれた地図で、自治会が中心になって作成します。県内では令和6年1月末時点で975地区が作成済みです。





interview

元地域おこし協力隊・農家
木村 智一さん

04

農業で北栄を支え続け 豊かな自然環境を次世代へ

「もうかる農業」で 精神的にも時間的にもゆとり

東大阪市から家族で移住し、農家をしています。農家ってもうからないイメージがあると思いますが、北栄町の農産物は市場評価が高くブランド化もしている、いわゆる「もうかる農業」を進めているので、経済的にも時間的にもゆとりを持てるようになりましたね。

以前は溶接工として早朝から夜遅くまで働いていたので家族との時間も少なく…。ただ、溶接のモノづくり精神が、いい作物を育てる今の仕事に通じています。



「溶接」と「農業」って全く異なりますが、モノづくりという点では一致するんですね。昔からコツコツ何かを作ることが好きだったので、今は天職と言えるかも。周りの農家さんもみんな楽しそうに作っているの、「売り物を作るだけ」ということだけじゃない、作る・育てる喜びやこだわりがいい農産物を育てているんだと思いますね。

農家の「こだわり」と「努力」は付加価値そのものなんですよ

妻の実家がある鳥取市と大阪を行き来するうちに、のんびり子育てをしながら家族と過ごしたいと思うようになり、娘が小学校に上がる前のタイミングで移住に踏み切りました。移住した平成28年から3年間、北栄町の地域おこし協力隊員として株式会社北栄ドリーム農場でイチゴ栽培や、農業・農産物の情報発信を行いました。初めて育てたイチゴを娘がモリモリ食べたとき「農家になって良かった～」と心から思いましたね。

今は県特産の長芋「ねばりっこ」をメインに、トマト、スイカを栽培しています。長芋は収穫期間が長いので、1人での農作業に向いています。手間と時間はかかりますが、その分、味で応えてくれるのが農業の妙味ですね。

北栄の農作物がおいしいのは、豊かな自然はもちろんですが、農家一人ひとりのこだわりと努力が詰まっているからです。ただ、職人気質の方が多くこうした努力を「あたりまえ」としているのが、カッコいいですがもったいない(苦笑)。こういうことは地元の方ではなかなか気付けない付加価値なので、よそ者目線で情報を発信し、北栄の農業を支え、次の世代につなげたいですね。

～column～

手厚い助成や研修 【独立就農支援】

初心者も就農できるよう関係機関が手厚く支援し、研修・助成金の制度も整っています。県農業大学校での初期研修と指導農家での実務研修を受けて、3～4年後の独立を目指すよう、各種支援しています。



町民 Voice



10年後も20年後も、みんなが楽しく過ごせるまちであってほしいです!



北栄町内に飲食店が増えて、観光客も増えてきたおかげでまちが元気になっている気がして、すごく嬉しいです!



いつも町みんなが笑顔で挨拶合っていてステキだと思います。私はこの挨拶や笑顔がたくさん北栄町で助産師として活躍したいです!



漫画家になって、いろんな人に元氣と感動を届けたいです!



北栄町は農業が盛んで野菜や果物がとってもおいしい!自然豊かでステキな北栄町にいつも感謝しています!

interview

由良だんじり OB
中原 真太郎さん

子どもたちの踊り・太鼓で 受け継ぐ伝統と誇り

250年の歴史に関わられたことを 光栄に思います

由良だんじりは、鎮守の神である高江神社に海運の安全を祈願するため250年前に始まったとされる行事です。小学校に入る前の男の子6人が神の使いの稚児役となり、屋台に載せられて神社の秋季大祭で踊りを奉納した後、かつての宿場町を練り歩いて家内安全を祈願する踊りを披露します。

行事を取り仕切る団長の任期は1年でしたが、私は団長も稚児も務めたことがあり、繁栄の歴史の一部になれたことは本当に光栄に思います。



町民 Voice



10年後も20年後もずっと、今の北栄町の良さを残しながら、発展して行ってほしいです!



台湾の友好都市への派遣や東京への遠征に町から資金援助がありました。子どもや若者の成長を後押ししてくれる優しいまちです!



将来教師になって、北栄町の教育をより良いものにしていきたいです!



静かで緑が多いのが北栄町の自慢です。人がたくさん来るようなまちになってほしいです!

伝統と誇り、安心して暮らせるまちを、いつまでも

大阪で学生時代を過ごして就職で北栄に戻ったとき、実は祭りのことはすっかり忘れていたんです。稚児だったときは、練習後のお菓子目当てで祭りの由緒なんて興味もなかったのが本音です(笑)。でも、帰郷してすぐに屋台の担ぎ手に誘われときは嬉しかったですね。子どものときの思い出がよみがえるというか、また地域の一員になれるというか。団長退任後の今も祭りには関わらせてもらっています。

稚児に選ばされると、大祭の2か月前から2人は踊り手、4人は太鼓の練習をほぼ毎日1時間はします。時を経て今の稚児たちとかつての自分をつい重ね合わせて見てしまい、日々成長する姿は感動します。本番では稚児たちは早朝から夜まで、若者が担ぐ屋台で地区内を回り、踊りを披露して五穀豊穡や家内安全を祈願します。住民たちも若者たちと一緒にだんじり唄を歌い、地域が一体となって盛り上げる景色は、20年以上経った今も変わりません。

北栄には地域を愛し、守っていく気風が今なお色濃く根付いています。私もあのとときの稚児の経験がまちに愛着や誇りを持つきっかけになりました。これからも伝統を守りながら、みんなが安心して暮らせるまちへの手助けをしていきたいですね。



毎年、選ばれる6人の稚児のうち、1人だけでも青年になってから由良だんじりに参加すれば、有志が続ける伝統の行事は残ります。息子も稚児を務めました。視野を広げるため北栄を離れることがあっても、いずれは戻って参加してほしいな、と思っています。



今も地域に根付く「由良だんじり」

藩倉から年貢米を大阪に運ぶ船と積み込み作業の安全祈願として始まり、今では地域住民の安全を願う祭りとして愛されています。

~column~

鬼を追い払う伝統行事 【追儺式】

1000年もの歴史を持つ北条八幡宮で、毎年2月3日に行われる伝統行事で、古式ゆかしい装束の射手が、鬼を描いた的に向けて3本の矢を放ち、地域住民の厄払い・無病息災を願います。



北栄町へ♡ありがとう♡
これからも住み続けます!

空気がキレイ!!

未来 | 第3章 |
21年目のまちづくり

Future

まちの未来へ向けたメッセージ集

最高の仲間に出会わせてくれた北栄町、本当にありがとう

うまっ スイカ

町民みんな
優しすぎ!!



有名なバレーボール選手
になって、北栄町を有名
にしたいです!

こんな自然豊かな
ところは、ほかには
ない!!



あいさつすると100パー返ってくる

大栄西瓜はとても甘くてみずみずしく、夏の暑いときにかぶりつくといっぱいが幸せに包まれますよ!



北栄町は治安がよく、安心して暮らせるし、大栄西瓜や名探偵コナンなど、魅力もいっぱいのまちです!

愛してまます♡
道の駅のカレーパン

名探偵コナンは
北栄、いや、
日本の誇りです

学生が選ぶ

北栄町の誇り

Pride



何年たっても、このまま平和で素晴らしい町であってほしいです

帰ってきてても、今のまま豊かな自然が残っている北栄町でいてください!



北栄町、20歳おめでとう!!



Message

故郷へ贈る



北栄のスイカは宇宙一
清掃活動で
まちを支えたい

messenger.01
大栄小学校 | 天野 陽沙さん

北栄町の好きなのは、大栄西瓜で、私の家もスイカを作っています。このスイカが世界一、いや宇宙一大好きです！
このまちでの一番の思い出は、砂丘まつりで、友達といっぱいしゃべったり、おいしい物を食べたり、何より最後の花火がとってもキレイ！
これからも北栄町にたくさんの人が訪れてくれたり、大栄西瓜ももっと有名になったり、活気ある町であり続けてほしいと思っています。
そんな北栄町のために今後チャレンジしたいことは、清掃活動です。私の家の近くの浜辺にはよくゴミが漂流するので、清掃活動に参加し、環境にも、生き物にも、人にも優しい北栄町をつくっていききたいです。



もっとステキな
まちにしていきたい

messenger.02
北条中学校 | 榎本 翔稀さん

北栄町の良いところは、自然が豊かで町民の方々が優しいところです。海や山の景色もきれいで、新鮮な海の幸が自慢です。
中学校の体育館で仲間たちとバスケットボールをしたことは今でも大切な宝物。これからも、多くの人にこの町の魅力を伝えたいです。
将来の町は、子どもたちや高齢者の方たちが安心して暮らせる安全な町になってほしいです。また、地域の人たちが仲良く協力し合える町になるよう、自然や伝統を守りながら、新しいイベントやお祭りにも積極的に挑戦し、みんなで力を合わせて、もっとステキな北栄町にしていきたいです。



若い世代が
このまちの魅力を発信し
盛り上げていきたい

messenger.03
鳥取中央育英高校 | 道祖尾 菜穂さん

北栄町の好きなのは、地域に応援して下さる人がたくさんいることです。友達と歩いていたら、地域の人が話しかけてくださり、「がんばれ!」と私の背中を押してくれるので、私は感謝の気持ちを抱きながら学校生活を送っています。最近の思い出としては、北栄町からいただいた魅力発見チケットを使ってカフェノカに行ったことです。友達と話しながら楽しい時間を過ごせました。誰もが住みたいと思えるまちになってほしいので、私たち若い世代が町の魅力をたくさん発信していきたいです。残りの学校生活では、将来の夢を実現するために勉強だけでなく、新たなことにもチャレンジしていきたいです。



若者が「ゆめ」を
見つけられる
面白いまちへ

messenger.04
一般社団法人E1 | メンバーの皆さん

私たちは、北栄町の若者たちの挑戦を応援し地域活性化につなげることを目指すグループです。家庭や学校以外の「第三の学びの場」を設けて、探求心あふれる若者を発掘し、専門性や主体性を育み、地域の中で成長する体験価値を提供しています。「E1Fes」もその一つです。
北栄町は自然が豊かで、山での虫捕りや海での釣り、地域の祭りなど、子ども時代に多くの体験をさせてもらいました。
これからも、町の強みを活かし、時代の変化に先手を打てるよう、自ら行動してより面白い北栄町をつくっていききたいと思っています。



New building

道の駅 ほうじょう

来訪者に喜びを
生産者をヒーローに
新たなコミュニティ空間の誕生



立ち寄り施設でなく、ここが目当ての観光コンテンツへ 「生産者がヒーローになれる道の駅」を目指していきたいですね

オープン以来、平日にも多くのお客様にお越しいただいています。休憩で立ち寄る施設ではなく、ここが目当ての観光コンテンツとなるよう、日々トレンドや季節ごとのグルメ、イベントを企画し、町内外に発信しています。

いろいろなところで事業の立ち上げに関わってきましたが、北栄町の食のポテンシャルは全国にも誇れるレベル。さらに磨きをかけるため「とがる、刺さる、突き抜ける」をテーマに『生産者がヒーローになれる道の駅』を目指し、お客様が楽しめるとともに、素材の良さを限界まで引き出した商品開発を心がけています。

例えば「伸びる」をコンセプトに、「ねばりっこ」をカレーパンやソフトクリーム、プリンのカラメルに入れ、地元食材の魅力を存分に堪能いただけるグルメを開発したり、商品の陳列もインスタ映えする工夫をしたり、子ども連れでも遊べるスペースも充実させています。

今後、北条道路の開通、青山剛昌ふるさと館のリニューアルなど、さらなる活性に大いに期待できるので、お互いに連携し、北栄の魅力をさらに町内外へ広く発信していけるよう、楽しみながら頑張っていきたいですね。

interview

道の駅ほうじょう 駅長
濱田 淳さん

全国でも人気の道の駅常総（茨城県常総市）で和食部門の責任者を務めた。北栄町は6次産業やアウトドアなど魅力的な素材が豊富で、以前から可能性を感じていたという。



※イメージ

Reborn

青山剛昌 ふるさと館

多角的に青山剛昌ワールドを展開
来館者の満足度と知名度アップを目指す
地域一体で集客効果の波及へ



※イメージ



移転に合わせて閉館となる現在の青山剛昌ふるさと館。この姿を楽しめるのは、残りわずかとなってきている。

令和9年の移転オープンで、魅力も内容もパワーアップ コナンの「聖地」をメインコンテンツに、観光を産業の柱へ

令和9年に開館予定の新・青山剛昌ふるさと館は、コナンの「聖地」にふさわしい、青山剛昌ワールドが多角的に楽しめる施設になります。来館者の7割は当町が目当ての観光客で、その内20代の女性がメインのコアなファン層です。

今以上に満足度や知名度を高めていけば、来館者の裾野が広がり、地域がさらににぎわうきっかけになると考えています。でも、観光客が食事に困る、土産店は行列、では北栄町に足を運んでもらえなくなるので、地域の方々と一緒に改善を進め、集客効果を地域に波及させることが重要です。

また観光客は、訪問地、移動手段、食事、土産、宿泊など各要素をひとまとめにして旅の満足感を得るので、観光の関係者同士が一体的に「おもてなし」をすることが大切。近くには鳥取砂丘、水木しげる記念館、出雲大社など大きなコンテンツがあるので、そこも連携していきたいですね。

北栄町には、美しい自然や温かい人間関係が私が生まれる前からずっと残っています。基幹産業である農業と、観光の中心である名探偵コナンを掛け合わせ、「農業と観光のまち」に育てるため、これまでの経験を役立てていきたいと思っています。

interview

青山剛昌ふるさと館 館長
河崎 積さん

とっとり花回廊園長や円形劇場くらしフィギュアミュージアム館長などを経て、令和4年4月から現職に。来館者の声や現場の意見を集めるとともに、観光に関する統計データやトレンド調査などを活用し、地域の発展に日々尽力している。





New building

北条道路・ 北条JCT

町内を東西に走る山陰道の北条道路
ヒト・モノの流通が急速に加速し
地域経済の活性化に大きな期待も



まちの未来を支え、住民を災害から守る建設業 携わった事業が地図上や実物で残るやりがいと誇りある仕事です

町内を東西に貫く北条道路は、山陰道で県内最後の工事区間で、私たち「共栄組」は盛り土や地盤改良、橋脚などの工事を担当しています。完成すればヒト・モノの流通が加速して地域経済発展に大いに期待できます。

私たちは北栄で創業して70年以上、国や県、市町村の工事から個人発注まで幅広く、工事を通して地域と歩んできました。最近では道の駅ほうじょうの建築や町営住宅由良宿団地の建て替えも引き受けました。建設業の魅力は、携わった仕事が後々までずっと、地図上や実物で残る点です。また、あまり目立ちませんが、

ため池の改修や舗装道路の修繕、砂防ダム工事など、日常生活や防災に関わる仕事もしており、人の暮らしを支えるお手伝いができていることは本当に誇りに思います。

昔から言われている「きつい、汚い、危険」いわゆる「3K」を、「給料、休暇、希望」の「新3K」に変えていけるよう、休日増や、ICT土木技術の導入などで「働きやすい」「カッコいい」と思ってもらえるよう努力を続け、この「北栄らしい」のどかな風景と穏やかで温かい人たちの笑顔を守り続けられるよう、これからも暮らしを陰から支える仕事を、きっちりしていきたいですね。

interview

株式会社共栄組 代表取締役社長
山崎 浩貴さん

北栄町に生まれ、大学は神戸、就職は東京へ。令和元年に帰郷して入社し、人知れず人々の役に立つ「縁の下の力持ち」を自認しながら、故郷の未来のために日々汗を流す。



漫画家

青山剛昌先生

～20周年記念メッセージ～

Message

Photo

令和7年1月3日に開催された「青山剛昌先生と話そうDAY2025」にて、控え室の壁一面をファンに応援メッセージで埋め尽くすサプライズで先生を迎えました。



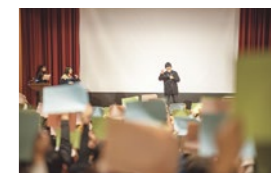
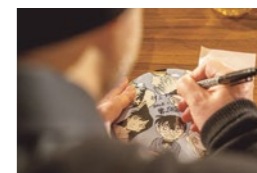
青山先生からの メッセージ

北栄町の皆さん、どーも青山剛昌です！
北栄町も合併から20周年！おめでとうございます！
お陰様で「青山剛昌ふるさと館」も入館者が200万人を超えたという事で、20と200で、まさにニコニコです(笑)。
その「ふるさと館」をでっかくして移転すると聞き、
とても楽しみでなりません！来訪者を増やして、北栄町がさらに活気づくお手伝いになればいいなあと思ってます！



Profile

昭和38年、鳥取県大栄町(現北栄町)生まれ。大学在学中は漫画研究会に所属し、漫画誌の新人賞に佳作入選。卒業後まもなく「少年サンデー」増刊号に「ちよとまてて」でデビュー。代表作「名探偵コナン」の連載は平成6年に始まり、コミックス全世界累計発行部数は2億7,000万冊を超える。



▲青山剛昌先生と話そうDAY

青山剛昌先生の帰省に合わせて、先生の出身地である鳥取県北栄町で平成22年から開催されているイベント。先生と参加者がお互いの顔を見ながら交流できるアットホームであたたかい雰囲気イベントです。

Information

▼各種相談窓口

相談	内容	問い合わせ・場所
届出・証明	戸籍、住民票、印鑑登録、マイナンバーカードに関すること	町民課 町民室 TEL:37-5866
税金	町税に関すること	町民課 税務室 TEL:37-5865
介護・高齢者	高齢者の生活、介護に関すること	地域包括支援センター TEL:37-5850
福祉	障がい者、ひとり親、生活保護、その他福祉全般の相談に関すること	福祉事務所 TEL:37-5852
健康	予防接種、各種健診(検診)、特別医療費助成制度に関すること	健康推進課 TEL:37-5867
子育て	こども園、保育所、各種子育て支援に関すること	教育総務課 子育て支援室 TEL:37-5870

▼町章



北栄町の町章は、北栄の頭文字「H」を基本に図案化。緑色は豊かな実りと夢、青色は協働と創造性、朱色は希望と活力を表しています。

▼町の木：クロマツ



クロマツは、高木の常緑針葉樹で、風雪に耐えながら力強く成長する。町の砂丘地域では、防風・防砂の役割を果たし、生活や農業を守り続けている。また、町内一円に庭木や盆栽として親しまれている。

▼町の花：ハマヒルガオ



ハマヒルガオは、北栄の砂丘地に自生する代表的な海浜植物である。厳しい環境に耐えながら大地にたくましく根を張り、美しくかんな花を咲かせ広がる様は、花言葉の「絆」を感じさせる。

▼町の鳥：ウグイス



ウグイスは、別名「春告鳥」と言われ、春を呼び込む鳥として町民に親しまれている。町内全域に生息し、その澄んだ美しい鳴き声は、躍動的で、明日への夢と希望を与えてくれる。

▼町歌：「いいね 北栄町」

一、
さくらそよ舞い 由良川誘う
風が奏でて 生まれた歌に
笑顔さわやか 手と手をとれば
心ふれあう やさしいまちよ
希望あふれて 明るく和み
いいね北栄町は 朝を呼ぶ

二、
虹が湧き立ち 白波おどる
若い力が 躍進めざす
砂丘大地は 豊かな幸を
拓き伸び行く うれしいまちよ
理想はてなく 鮮やか栄え
いいね北栄町は 夢を呼ぶ

三、
星をちりばめ 大山慕う
歴史はるかな ふるさと想う
文化ときめき 憧れ染めて
めざす未来が まぶしいまちよ
今日も世界へ 高らか弾む
いいね北栄町は 友を呼ぶ

epilogue

北栄町に関わるすべての人が
やりがいと誇りを持ち、
心豊かにくらせるまちへ — 。

北栄町長 手嶋 俊樹



北栄町はこのたび、町制施行20周年を迎えることができました。これまで町の発展のためにご尽力いただいた皆さまに、心より感謝と敬意を申し上げます。また、この節目を町民の皆さまと共に迎えられたことを大きな喜びと感じております。

この20年を振り返りますと、鳥取県中部地震や新型コロナウイルスの拡大など、私たちの暮らしは大きく変化しました。その中で日常の大切さや人と人とのつながりの尊さを改めて実感する時期でもありました。

町づくりでは、「稼ぎ賑わうまち」「未来を育てるまち」「誰一人取り残さないまち」「安全で持続可能なまち」「つながりを育むまち」、そして「健全な財政運営」を目標に、多様な施策を進めてきました。

産業面では、毎年約8人の新規就農者が地域の農業を支えています。また、「道の駅ほうじょう」の再整備により中部地域の玄関口としての役割を担い、令和6年度には13件の新規起業もあり地域経済に新たな活力が生まれています。

観光面では、入場者数が年間23万人を超える「青山剛昌ふるさと館」が令和9年の新築移転を目指しており、さらなる集客と賑わい創出に期待が高まっています。

子育て・教育分野では、老朽化した学校施設の大規模改修を進め、子どもたちが安心して学べる環境を整えています。福祉では、多様化する支援ニーズに対応すべく重層的な支援体制を整備し、交通分野ではタクシー利用助成や共助交通の導入により交通弱者の支援に努めています。

環境面では脱炭素先行地域に選定され、人口減少や地域課題に対応しつつ、持続可能なまちづくりと脱炭素社会の実現を目指して取り組みを推進しています。

こうした取り組みを通じて、北栄町は魅力あるまちとして着実に成長を遂げてきました。今後も「人と自然が共生し、確かな豊かさを実感できるまち」の実現に向けて、町民の皆さまと手を携え歩んでまいります。

皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。20周年のご挨拶といたします。



次の10年、20年先も
あなたと一緒に



町公式ホームページ



YouTube



Facebook



X(旧ツイッター)



Instagram

北栄町
町制施行20周年記念
町勢要覧

発行:北栄町

【大栄庁舎】〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1 TEL 0858-37-3111 FAX 0858-37-5339
【北条支所】〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1 TEL 0858-36-3111 FAX 0858-36-4595

発行年月:令和7年10月
編集・印刷:(株)ジャパンインターナショナル総合研究所